



2022年3月吉日
横浜中華街発展会協同組合
理事長 高橋 伸昌

～ダンスと音楽で人と人を繋ぐ、気持ちを一つにする～
主人公「Sota (GANMI)」と横浜中華街の2年の歳月の記録映画
「Odore.」ドキュメンタリーショートフィルムを
2022年3月20日に公開します
楽曲は「HAN-KUN (湘南乃風)」による描き下ろしSong「春節」



横浜中華街と横浜地域の発展のために活動する横浜中華街発展会協同組合（以下、「中華街発展会」）は、横浜中華街公式You-Tube及び横浜中華街映画祭特設サイトにおいて、3月20日0時から、「Odore.」ドキュメンタリーショートフィルム（京極弘樹監督）を公開いたします。

本作品は、横浜中華街の「いつの時代も人をワクワクさせる場であり、人々に愛される街でありつづけたい」という想いに賛同した5人のクリエイター（映画監督）が、街を育む横浜中華街に集う人々とともに、後世に残り・紡ぎ・繋がる手段として5本の映像作品で残す「横浜中華街映画祭」の最後の1作品です。

「ダンス」というツールで人々が繋がり一つになる。主人公は子供の頃から横浜中華街を遊び場にしてきた世界的ダンスチーム「GANMI」のリーダーでありディレクターのSota氏。当初の計画は、2020年5月に横浜中華街の大通りで歴史に残るダンスパレードをし、その過程を追ったドキュメンタリーショートフィルムとなる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症が発生し、イベント自体が消滅、暗礁に乗り上げました。新型コロナの影響は凄まじく、中国ヘイトの差別被害もあり横浜中華街は、街の存亡の危機を迎えていました。そこから2年間、あきらめず対話を続ける中で、HAN-KUN（湘南乃風）氏と出会い、ダンスと音楽で街を一つにすることで、ミュージックビデオ（MV）に残し、ドキュメンタリーとの2本立ての作品を作り上げました。

ドキュメンタリーは、構想からMV撮影までの苦難と喜びの記録が納められています。その中には、コロナ禍で人が消えた街の風景や、人種など、この街がもつ多様性など、これまでなかなか見られなかった横浜中華街の生の姿が見られます。MVでは、主人公のSota氏率いるGANMIとGANMIダンサーの皆さん、HAN-KUN（湘南乃風）氏、横浜中華街で働く人や支えてくださる近隣地域の仲間たち総勢約300名が、早朝の中華街大通りに一堂に会し、HAN-KUN氏によるオリジナル楽曲「春節」に合わせて踊る、街と人を愛する想いが結集した作品で、エンターテインメント作品として、多くの方にお楽しみいただけたらと思っております。

公開日の3月20日は、ちょうど2年前の2020年3月20日、新型コロナウイルスに立ち向かう街の活動「#がんばれ中華街」活動が始動した、節目の日にあたります。21日にまん延防止等重点措置が全国で解除され、本格的な経済復興に向かって進んでいくこととなります。本作品の公開を励みとし街の復興に取り組んでまいりたいと思います。また、年内にオフラインでの上映会を実施し、エンターテインメントの力で街を盛り上げていきたいと考えています。 1/7

<Odore. 公開情報>

横浜中華街公式You-Tubeチャンネルにてオンライン配信

●ドキュメンタリーショートフィルム 2022年3月20日（日）0時

【情報解禁日時：2022年3月19日（土）0時】



<https://youtu.be/DfGCGvOg-7U>



●MV（ミュージックビデオ） 2022年2月1日（火） 公開中

<https://youtu.be/CsfFzdVYTe8>



●提供価格：無料

●主な出演者：Sota Kawashima、HAN-KUN（湘南乃風）、GANMI、
横浜中華街発展会協同組合と横浜中華街を愛する皆さん

●完成までの経緯：

2019年構想開始

2020年5月「Y161」で歴史に残るパレード実施に向けてプロジェクトが始動

↓2020年1月 新型コロナウイルス感染症が日本で発見

「Y161」中止、プロジェクトは暗礁に乗り上げる

↓対話を重ね、ダンスと音楽で街を一つにしようとMVとドキュメンタリーの2本作品として再始動

・2021年1月18日 総勢300名を超える参加者にのMV撮影⇒緊急事態宣言発出により延期

・2021年3月14日 総勢300名を超える参加者のMV撮影⇒緊急事態宣言延長により再延期

・2021年4月25日 総勢300名を超える参加者のMV撮影（まん延防止重点措置発出中）

↓撮影、編集

2022年2月1日 MV公開

2022年3月20日 ドキュメンタリーショートフィルム公開

<出演者とクリエイター紹介>

Sota Kawashima & GANMI

横浜出身のSota Kawashimaが率いる、2015年に日本から全世界に“エンターテインメント”を発信すべく、結成された11人のダンスクルー。2016年にアメリカ・ロサンゼルスで開催されたダンスの世界大会「VIBE DANCE COMPETITION XXI」での日本チーム初の優勝を皮切りに、ライブ活動をスタートさせる。「CHOREO MUSIC」と呼ばれる、ダンサーが主体となって、アーティストとコラボレーションして楽曲を作り上げていく新たなスタイルを確立させ、楽曲を発表している。またアーティストの振付・ライブ演出、TVやCM出演、バックダンスに加え、国内外問わずワークショップやパフォーマンスと多岐にわたって活動中。「日常をエンターテインメントに」というスローガンの元、社会活動の一環として小学校などでもダンスのレッスンを行っている。2019年にはクラウドファンディングを活用して、全国47都道府県で無料ライブを計画、実施し成功を収める。数々のアーティストの振付を手掛けており、2021年BTS「Butter」の振付制作に参加し、最注目ダンスクルーとなる。



HAN-KUN

4人組男性グループ『湘南乃風』のメンバーの一人。

ソロとしても、湘南乃風のボーカリストとしても唯一無二のその歌声で多くの音楽ファンを魅了。湘南乃風として『睡蓮花』『純恋歌』などの数々のヒットソングをリリース。2006年より、ソロ活動を活発に始め、数多くのコンピ・アルバムや他アーティストの作品に継続的に参加し、2010年には“KEEP IT BLAZING”がMTV最優秀レゲエビデオ賞を受賞。2019年リリースしたカバーアルバム「Musical Ambassador」が話題を呼び数々のチャートで1位を獲得。

横浜中華街のために描き下ろした、「#がんばれ中華街」公式応援ソング「春節」は、2021年5月2日に配信リリースされたDigital EP『未来へのかたち』に収録されています。

Message from HAN-KUN

由緒ある横浜中華街、その歴史に少しでも関われた事を光栄に思います。

改めてこの素晴らしい機会を与えて下さった中華街発展会の皆さん、中華街の皆さん、本当にありがとうございました。

MV撮影ではいつも遊びに行ってる場所での撮影だったので不思議な感覚もありましたが、

街の中に自分が入り込んで映るという意味では特別なモノを感じました。

中華街が一つになっていく様は、まさに今の時代に必要な、メッセージが詰まってるように感じます。

一回の人生

派手に「Odore.」

必ず"春節"で会いましょう。

<出演者とクリエイター紹介>

横浜中華街ダンサー

中華街大通りに一堂に会し、HAN-KUN氏が横浜中華街のために描き下ろしたオリジナル楽曲「春節」に合わせて、主催者の横浜中華街発展会協同組合の組合員と横浜中華街を愛する人々、総勢274名が踊る。

出演者：横浜中華街発展会協同組合組合員/賛助会員、横浜市、中区役所、中消防署、中土木事務所、教育機関、山下町町内会、獅子舞団体など各種団体、「#がんばれ中華街」活動応援企業、2020年度事業共同実施者、金融機関など。



監督 京極 弘樹

映像制作会社にてプロダクションマネージャーを経験後、クリエイティブプロダクション goraku inc.を創業。「楽しみを創り出すクリエイターが集まる場所」というビジョンで、映像プロダクション業務を軸として撮影、照明、CG、アニメ、イラスト、WEBなど様々なクリエイターと共同でプロデュース、ディレクション、マネジメントと多岐にわたる立場で活動中。

●ドキュメンタリーショートフィルム公開日の3月20日と

「#がんばれ中華街」活動

「Odore.」は、横浜中華街映画祭の5本の映画の中で、新型コロナウイルス感染症の影響を多大に受けた作品です。何度もくじけそうになりながら、2年以上の歳月を経て完成し、「#がんばれ中華街」活動を開始して3年目になる節目の日の2022年3月20日、公開できるようになりました。

新型コロナウイルス感染症が、中国武漢から起こったことから、発生当初の横浜中華街は、様々な風評被害や中国ヘイトなどの差別被害で街全体が沈みかけましたが、全国からの応援の声がSNSで寄せられ、応援への感謝とコロナに立ち向かう決意の横断幕を2020年3月20日に善隣門に横断幕を掲げました。

以後、今日に至るまで、横浜中華街発展会協同組合による、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に対する横浜中華街を中心とする地域への様々な支援活動を「#がんばれ中華街」活動として、街と地域経済の復興に取り組んでいます。



<本件に対するお問い合わせ>

横浜中華街発展会協同組合

平日：入澤 info@chinatown.or.jp / TEL. 045-662-1252 FAX. 045-211-0593

土日祝：石河、安東 info@chinatown.or.jp / Mobile: 090-1595-2408 / 090-1898-1714

神奈川県横浜市中区山下町118-2 留日廣東會館ビル5F www.chinatown.or.jp

<横浜中華街映画祭について>

もっと横浜中華街を知ってほしい！

エンターテインメントの力で横浜中華街の魅力を伝え、未来につなぐプロジェクト！

■なぜ、横浜中華街が映画祭を開くのか？

「いつの時代も人をワクワクさせる場であり、人々に愛される街でありつづけたい」

横浜港が開港して間もなく外国人居留地となった街の一角、日本の人と中華の人が協力して創った街が横浜中華街です。街の住人、地域の人々、国内外から観光に来てくださる方々、多くの方々に支えられ横浜中華街は誰もが知る賑やかな街になりました。

新型コロナウイルスは街に未曾有の危機をもたらしました。大きな傷を負いましたが、これまで見えていなかった大切な気付きがありました。

映画祭を通じて、街おこしをするとともに、地域への感謝と恩返し、そして横浜全体を盛り上げていきたい。「横浜中華街」ここになりと発信し続け、より多くの方に愛される街になっていきたいと願っています。

■「横浜中華街 映画祭」プロジェクトについて

2019年からあためてきた本プロジェクトは、横浜中華街が掲げる新しいブランドビジョン「リピーター溢れる横浜中華街」の取り組みの一つです。横浜中華街は中華の伝統文化を継承・発展させてきたと同時に、食を中心に新たな生活文化を生みだし、街を応援くださる全ての方々と一緒に育んできました。

支えてくださった皆さまへの感謝を伝えるとともに、より多くの方に愛される街でありたい。その想いを具現化し、後世に残り・紡ぎ・繋がる手段として映像作品に残したい。作品を通して、街を未来につなげ、ひいては、横浜中華街という場所から生まれた芸術が、新たな芸術家を世に送り出したす機会になり、地域活性の一助になることを願っています。

～横浜中華街を舞台にした、5つの作品（短編映画）～

2021年3月26日
公開

滑板拳

～KUNG-FU SKATEBOARDER～

宮尾昇陽/SHOYO MIYAO

噂のLieLieX

加藤秀仁/HIDEHITO KATO

雨水

横田光亮/KOUSUKE YOKOTA

2021年9月21日
公開

いったん

ホンマカズキ/HONMA KAZUKI

2022年2月1日 &
3月20日公開

Odore.

京極 弘樹/HIROKI KYOGOKU

<横浜中華街映画祭、他の4作品紹介>

噂のLieLie×

加藤秀仁/HIDEHITO KATO

2021年3月26日
公開

～テーマ：信頼～

「ひかり」と中国人の「陳」は互いに動画配信をしている。共通点といえば、「踊ってみた」系の動画を投稿していること。互いの動画の再生回数が伸びず、一緒に「陳」の住む、「横浜中華街」で動画を撮影することに。そんな時、ひかりに好意を寄せつきまとう同級生「後藤」からSNSにDM(ダイレクトメッセージ)が届く。

付き纏われるのが嫌なひかりは咄嗟に、「嘘」をついた。

嘘に気づいたのか、「後藤」は「ひかり」を問い詰める。

ひかりは嘘を重ね、ついに自分は中国人だという嘘までついた。

とことん疑いにかかる「後藤」に対し、バレないように、「陳」にも協力してもらい、裏工作をしていくが、どんどんバレていく。。。

次第に嘘が嘘を呼び、大騒ぎに。。。

意地と意地の張り合いは、「ひかり」と「後藤」は一体どうなるのか。



監督 加藤 秀仁

2015年、中国で制作したネットドラマがヒット、中国のTudo Festival 2015 Comedy Chanel部門において同チャンネルが最優秀賞を受賞。KANA-BOON、DISH//、キタニタツヤ、eillなどMV、「中日大学生的的日常」、「日本ジャオスー全10話」など中国ネットドラマ、TVCMやwebムービーなど多数。

映像作家100人2020選出。

雨水

横田光亮/KOUSUKE YOKOTA

～テーマ：温度～

大学の油画科を卒業後した八神景(25)は展示で飾っていた画が100万で購入され、それから漠然とした不安で画を描けず、次第に部屋から出ることが少なくなっていた。

唯一行く場所といたら、大学入学時から通っている家の近くの中華菓子店にお菓子を買に行くぐらい。

幼馴染で同じ学校に通い美術館で働いている石田光(25)があたりまえの様に景の家に泊まりに来て、子供の絵の展示に景を誘うが行く気も見えない景。それでも諦めない光。

そんな2人を見守る中華菓子店の店長が光に差し入れを持っていってくれと景に言う。渋々足を運んで見た子供の画に景は・・・。



監督 横田光亮

2017年 初監督作品短編映画「ヴィニルと烏」を創る。

2018年 SKIPシティ国際Dシネマ映画祭、TAMANEWWAVE ある支店部門入選。

2019年 アップリンク吉祥寺にて劇場公開。

他にはマカロニえんぴつ MV「ヤングアダルト」を監督。

<横浜中華街映画祭他の4作品紹介>

滑板拳

～KUNG-FU SKATEBOARDER～

宮尾昇陽/SHOYO MIYAO

2021年3月26日
公開

～テーマ：記憶～

2024年 横浜中華街で古ぼけた中華料理店を営む主人公。遡ること4年前のTOKYO2020で新種目となったスケートボードで、オリンピックに出場予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響でオリンピックが中止となる。

立て続けに不幸が襲い生きる楽しみを無くしてしまっていた中、親父の死をきっかけに泣く泣く家業の中華料理屋を継ぐことを決意。

料理に気持ちが入らないまま数年間を淡々と過ごしてきた日々だったが、ある日少年スケーターとの衝突をトリガーに過去の記憶がフラッシュバック。

スケートの動きと料理の動きがシンクロしはじめる。

幼い頃からやっていたカンフーも思い出し『料理・スケートボード・カンフー』で再び魂に火が灯った主人公。

忘れていた過去が、今の主人公に大きな活力を生み出し、全てが好転、お店は大繁盛。歩んできた自分の人生、一貫するものはカンフーの精神だと悟り、再出発をする。



監督 宮尾昇陽

GROUNDRIIDIM所属。ZONVOX株式会社 代表取締役

2014年パリでのコレクション収録を皮切りに、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、アジアなど海外へも活躍の場を広げ、各地で広告やファッション、ミュージックビデオやドキュメンタリー等の映像製作を手がける。

いったん

ホンマカズキ/HONMA KAZUKI

2021年9月21日
公開

～テーマ：伝統～

日常には、様々なシチュエーションの「会話」が存在している。

ある日の午後、純喫茶の窓側で2人の間には不穏な空気が流れ、別れを告げる。

付き合いだてのカップルが、仲睦まじい会話から、ふいに将来の話を持ち出す。

歳を取った父親と息子の他愛もない日常の会話。人と人との会話には、いつもお茶や飲み物が挟まれている。

2020年。人の口を見る機会が、めっきりと減りました。新型肺炎の影響で、口を目にすることが少なくなった世の中だが、お茶を飲むには「口」を使い、言葉を紡ぐのにも「口」を使う。お茶を淹れ、口にしたときに「いったん。」心を落ち着かせることは、今も昔も変わっていない。そして人々は未来へと進んでいく。

未来へ進んでいく道は、果たして幸せなのか不幸なのか。風のようにゆらめく時間、お茶の香りが優しく寄り添う。



監督 ホンマ カズキ

1986年生まれ。新卒で梱包資材メーカーの営業職を経て、2013年よりフリーランスで映像制作を開始する。2018年6月より、“湿度高めのエキゾチック・ビジュアル”を、テーマにした映像制作会社「株式会社エキゾチカ」を設立。現在は福生市を拠点とし、ミュージックビデオや企業広告、VJを中心に幅広く活動している。